



あなたと議会を結ぶ

議会だより

●発行：鹿児島県知名町議会
●編集：議会広報委員会
●発行日：平成29年1月25日
●〒891-9295
鹿児島県大島郡知名町知名307
TEL 0997-93-3119

謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。

知名町のさらなる発展に向けて議員一同取り組んで参ります。
知名町議会

主な内容

- ◆ 年頭のあいさつ 2
- ◆ 第3回臨時会・第4回定例会のあらまし 3
- ◆ 一般質問 4～12
- ◆ 第3回臨時会・第4回定例会で審議された案件 13
- ◆ 議会の動き／編集後記 14

す
ま
い
り
に
！



ちなボー
知名町マスコットキャラクター

年頭の挨拶

知名町議会 議長 名間 武忠



新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、希望に輝く新年をご家族おそろいでお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年8月の町議会議員選挙には、皆さまに議員12名を選出して頂きました。私ども各議員として訴え続けた政策については、議会定例会や各委員会等において、一般質問や議案審議、さらには日頃の議員活動を通して町執行部と是々非々をもって実現に取り組み、町民の付託に応える所存であります。そのためにも、議員一人ひとりが町民の声に耳を傾け、町民目線で誠意と情熱をもって地域と共に歩む議会活動が肝要だと認識をいたしております。また、本年も開催予定の「議員と語る会」には、町・議会への要望・意見・提言等、更に、若者と町の将来像について語り合いができるように多くの皆様のご参加を願っております。

ところで、昨年は「町制施行70周年」の大きな節目となり、私どもは、知名町の70年を顧み、多くの苦難を乗り越え、今日の繁栄の礎を築いた先人へ敬意と感謝の念を抱きました。これを機に、今後、男女老若だれもが住みよい町、魅力ある町づくりを次世代に引き継ぐために邁進する決意であります。

農業関係は、台風等の気象災害もなくサトウキビの増産、パレイショの価格安定、畜産においては、子牛価格の高値が続くなど農家の所得向上が図られてきました。また、サトウキビは今期も昨年を上回る増産が見込まれることから、例年より早く12月1日からの操業開始となりました。その他、花卉・葉たばこなどの品目にも期待を寄せております。これからの農業全般において、生産量や価格が安定して持続されることを祈っております。ここ数年来、議論され、本町農業への影響が懸念された環太平洋連携協定（TPP）は、昨年12月に国会で承認され、その関連法も成立しましたが、アメリカの脱退が予想されるなど、今後不透明であり、これから注視していくことになりそうです。

現在建築中の認定こども園「すまいる」が4月に開園となり、幼稚園・保育所が一元化され、待機園児が解消されると共に幼児の保育・教育環境が改善されることとなります。また、平成16年以降の公営住宅建設事業は、知名C団地A棟8戸の建設により、老朽化した住宅の立て替えが促進され、次年度以降の計画・実施は、当地区における住環境の大幅な改善が図られます。

本町の課題である人口減少、少子化、若者の定住・雇用の確保、農家の経営安定と後継者育成、高齢化社会に向けた福祉の充実や商店街・地域の活性化などの対策に全議員が一致協力して努めて参ります。町民の皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

本年も皆様にとりまして、幸多い素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成29年 元旦

平成28年第3回臨時会・第4回定例会

第3回臨時会及び 第4回定例会のあらまし

知名町議会第3回臨時会は、10月25日に開催され、平成27年度知名C団地用地造成工事、知名認定こども園園舎新築工事1工区の工事請負変更契約の締結を可決しました。

また、第4回定例会は、12月13日から15日の日程で開かれました。今定例会では、町政全般に対する一般質問に9名の議員が登壇し、町政発展のための活発な議論が交わされました。

議案審議では、所得税法等の一部改正する法律の公布等に伴う知名町税条例の改正など5条例の一部改正、知名町農業委員会委員の定数に関する条例の制定を原案可決しました。

補正予算審議では、一般会計及び国民健康保険特別会計など8会計の平成28年度補正予算を原案可決しました。

工事請負契約の締結案件では、平成28年度知名C団地A棟建設工事請負契約の締結を可決しました。

意見書の審議では、三議長会（都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議長会）が足並みをそろえて提出することとしている、地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書を原案可決しました。

一般質問

9名の議員が町政を問う

一般質問は、行財政全般にわたる政策論議の場であり、より良い町政を目指して町政の各方面にわたって質問が行われました。4ページから掲載の内容は、主な項目についての質問と答弁の要旨です。（質問順に掲載）

○ 今井 吉男 議員

1. 平成29年度予算について
2. 農業振興策について
3. 観光振興策について

○ 大藏 哲治 議員

1. 小米への公営住宅建設とコンパクトな街づくりについて
2. 本町への製糖工場誘致について

○ 中野 賢一 議員

1. 老朽化の激しい養護老人ホーム長寿園の早期建て替えについて
2. フローラルパークの多目的広場グラウンド・ゴルフコースの公認化について
3. 農業集排水事業・合併処理浄化槽の普及率・運営・普及活動について
4. 知名町内の道路整備計画について

○ 奥山 直武 議員

1. 教育関連について
2. 保育所持機児童について
3. 知名町民体育館トレーニング室の活用について
4. 福祉関連について

○ 外山 利章 議員

1. 防災関連について
2. 住吉貝塚の整備について
3. 採択された陳情及び請願への対応について

○ 新山 直樹 議員

1. 奄美ドクターヘリの運航について
2. 公共施設の維持、改修について

○ 宗村 勝 議員

1. 知名町ボイ捨て防止条例の施行後の対応について
2. 町ホームページの更新について
3. 高齢者の運転免許の返納促進について
4. 農業政策について
5. 長期休職している役場職員の実態について

○ 根釜昭一郎 議員

1. 来年度予算における重点政策について
2. 人口減少問題について
3. 知名町版学園都市計画について

○ 西 文男 議員

1. 障がい者支援について
2. 障がい者就労施設について
3. フルマラソンの開催について
4. 救助工作車の更新について

給食センターの建設年度は

教育長／平成29年度中に方向性を示したい



今井吉男 議員

問 老朽化で地震発生時等に危険な給食センターの早期建設は出来ないか。

答 教育長 文部科学省の示す学校給食衛生管理基準に適合した施設であることを最優先に、平成29年度中に方向性を示したい。



給食センター

問 事業計画より遅れている田皆岬展望所付休憩所の建設年度は。

答 町長 来春予定の国立公園指定後に改めて有利な補助事業等について、国と協議しながら検討する。



田皆岬展望台跡地

問 国が推進する地方創生事業導入について。

答 町長 今後、事業導入を見据え、事業立案、計画の策定を進め、国の認定を受けた後、補正予算で計上する。

問 おきのえらぶ食品リサイクルセンターの（株）ガイアとの年間委託料（400万円）の見直しについて伺う。

答 町長 平成28年10月1日から、町内業者の「Rin（リン）管理システム」と業務委託契約を締結、平成29年度についても、引き続き「Rin（リン）管理システム」と契約する予定。



食品リサイクルセンター

問 水道水の硬度低減化事業導入は出来ないか。

答 町長 現在の事業補助率は、上水道が1/3で、簡易水道は1/2となっており、今後、補助率の高い事業が出てくれば手を上げた。

問 TPP（環太平洋連携協定）の国会審議が大詰めを迎えた。農業立町として対策をとる考えはないか。

答 町長 TPPについては、本年2月4日に署名12カ国でTPP協定への参加がなされ、各国が国内手続きの段階にありますが、トランプアメリカ次期大統領は、来年1月20日の就任初日にTPPからの離脱を表明すると明言しており、今後のTPP協定の行方は不透明な状況。

問 平成10年度から12年度は、本町の農畜産物総生産額は50億円台であったが、近年では30億円台まで低迷している。対策は図れないか。

答 町長 作物別に見ると、野菜、花き、葉たばこが減少しており、町としても、これまで農業生産額50億円以上を目標として農業振興を図ってきたが、農業生産額を安定的に確保するため、農地の有効活用と各作物振興に取り組み、農家経営の安定に努めていきたい。

の液肥等を活用した土づくりの推進を図れないか。

答 町長 安定した農業生産量を確保するため、堆肥や緑肥等の有機物を活用した土作りが重要となっており、今後も地方増進に活用する。

問 近年、ダイビングやケイビング等の体験型観光に人気が高まっている。老朽化した大山展望台や一部未完成の西海岸沿いのサイクリングロードの整備は出来ないか。

答 町長 来春の国立公園の指定や、2018年の「奄美・琉球」の世界自然遺産登録を契機として、交流人口の増加が見込まれることから、展望台を含めた大山周辺一帯の利用方策を検討したい。

問 4年後の2020年に開催される東京オリンピックや鹿児島国体の本町で開催予定のパワーリフトインに伴う施設整備や観光客の受け入れ対策が必要ではないか。

答 町長 本町でのパワーリフトイン開催で、多くの関係者の入り込みが予想される。現在、大会会場をあしひの郷・ちなな舞台を予定している。



大蔵哲治 議員

コンパクトな街づくりで商店街の活性化を

町長／商工会との連携を図り空洞化防止を推進

知名町公営住宅等長寿命化計画



平成 24年 3月 施設監修 堀内剛

知名町公営住宅等長寿命化計画

要があるところに必要な物を提供するのは、町長の役割と考える。以上の観点から小米に公営の住宅建設を提言します。

問 町長 以前から地域の活性化を図るために地域分散型住宅の要望もあり「知名町公営住宅等長寿命化計画」に沿って住宅整備を進めています。小米地区は整備計画が入っていない状況であり、今後、地域から要望があれば、整備計画の見直しが行われる時期に、必要性、建設候補地、財政等を勘案しながら検討したい。

問 本町への製糖工場誘致について、今期のさとうきび生産量が9万6千トンの見込みで報告があり、南栄糖業も12月1日から操業し、4月16日終了と計画しました。しかし、今期も雨天等で操業終了の遅れを心配する農家もあり、会社へ圧搾能力の増強を求める声もありましたが、前向きな答えは得られず、このままでは将来生産調整になりかねない事態になるのではと危惧するところですが、そのような事態を招かないために、本町に製糖工場を誘致する時期にきているのではと考えるが、町長の考えを伺いたい。

問 小米にはかつて公営住宅が6棟12軒ありました。小米B団地がAコープ建設に伴い、取り壊されてから公営住宅を手当てする事なく今日に至っている。また、知名幼稚園は、知名認定こども園の開設に伴い来年度瀬利覚に移転、そして役場も新庁舎建設に伴い移転するやも。

この様に小米商店街からますます人通りが少なくなる事が懸念されますが、町長の見解を伺いたい。

能も兼ねた施設として建設を模索しており、建設に当りましては、町民のコンセンサスを得ながら推進していきたい。今後、人口減少や高齢化の進展で、商店街を取り巻く環境は厳しいものがありますが、買い物弱者支援や地域コミュニティの拠場となるよう、商工会との連携を図り空洞化防止を推進していきたい。

問 小米は居住環境が良く、子供のいる世帯には学校・病院が近いのが魅力であり、高齢者には病院はいうまでもなく、歩いて買い物に行けるといふことは、いわゆる買物弱者の救済にもなり、コンパクトな街づくりが今求められているのではと考える。需



今期のさとうきび

答 町長 本町への製糖工場の誘致については、南栄糖業の第二工場として新設する方法と、新規参入による工場新設が考えられる。いずれも、手続きを踏めば出来るようですが、現実問題としては、巨額な投資を要することから厳しいのではと考えますし、沖永良部糖業への悪い影響がないかも検討する必要があります。しかし、ご指摘のとおり操業終了の遅れは、さとうきび振興や生産者の意欲減退もつながる問題だと思っておりますので、今後も、更なる安定処理の実現を求めていきたい。

養護老人ホーム長寿園の早期建て替えについて



中野賢一 議員

町長／他の公共施設の整備もあり、耐力度なども勘案しながら進めたい



養護老人ホーム「長寿園」



フローラルパーク



知名町生活排水整備計画図

問 老朽化の激しい養護老人ホーム長寿園の早期建て替えについて。

答 町長 昭和45年度に開所以来、46年経過し、その都度整備を行ってきましたが、施設の老朽化が進行している状況です。入所者の居住区分は、相部屋がほとんどであり、また、高齢化とともにポータブル使用や認知症の増加、更には介護度の重篤者も増えてくる現況から、入所者の尊厳を守ることを含め、快適な居住性となし、安全性の確保を図る総合的な整備は必要と考えています。建て替えについては、他の公共施設の整備もあるのしながら進めていきたい。

問 フローラルパークの多目的広場グラウンドゴルフコースの公認化について。

答 町長 Ⅱグラウンドゴルフの公認コースについての陳情書が平成26年5月29日提出、同6月19日の第2回定例議会において採択されています。その後の状況については、平成26年の第2回定例議会で答弁したように、多目的広場として整備してあるので、グラウンドゴルフコースとして認定されると、グラウンドゴルフ専用としての制約があり、基本的には設置ホール等の移動・撤去等に制限がかかります。フローラルパークは、多目的

公園として、ゲートボール場としての使用や子供たちの遊び場としても多くの町民に利用されていることや、今回運行が決定した、奄美ドクターヘリのランデブーポイント（離発着場）としても利用されるため、公認コースとしていまして、ドクターヘリの利用状況や、多目的広場としての利用状況を勘案しながら、今後、コースの公認化については、さらなる検討が必要であると思います。

問 農業集落排水事業・合併処理浄化槽の普及率・運営・普及活動について。

答 町長 Ⅱ事業の運営上、接続率の低い地域の加入促進をい

かに推進するかという課題があり、加入促進を図るための施策として、広報ちなや町ホームページや夏まつり等のイベントにおける加入促進キャンペーン、町指定工事店を通じた各家庭への呼びかけといった推進策を講じています。

問 知名町内の道路整備計画について。

町内で集落内の道路幅員が非常に狭く、火事・地震・災害等が発生すると消防活動避難等に支障をきたすことが考えられるが、道路整備の計画（特に都市計画区域内の瀬利覚字、都市計画区域外の上平川字等）について伺います。

答 町長 Ⅱ質問の瀬利覚字、上平川字内については、現在のところ町としての道路整備の計画はありませんが、集落内には幅員が狭い箇所が多く、消防活動や避難移動等に支障があることを認識しています。しかしながら、道路拡張工事となし、地権者の同意、また、民家密集地域であるため、多額の用地費や建物補償費等が必要となりますので、事業実施可能かどうか今後検討してまいります。

中学校へのライフスキル教育の導入は

教育長／道徳教育で対応する



奥山直武 議員

ただし、待機児童の定義として他に利用可能な施設があるが、保護者の私的な理由による場合は、待機児童のみを希望する児童数としては0名です。

問 町長 12月1日現在、施設への入所申し込みがされているが、利用できる児童は、0歳児7名、2歳児5名、計12名となっています。

問 町内4保育所での待機児童は何名なのか。

答 教育長 11月までは小学校5、6年生は週1単位の時間の英語教育を行っていたものを週2単位の時間に増やし、3、4年生では週1単位の時間の外国語活動の時間を確保する計画です。

問 小学校に英語科目が導入されるが、教育委員会としての対応は。

答 教育長 平成31年度から中学校で、道徳が教科として取り扱われることになっており、道徳教育の充実が図られ、ライフスキル教育も充実するものと思います。

問 生きる力を身につけるライフスキル教育の中学校への導入予定は。

答 町長 平成28年4月から一般利用が開始となり、11月まで述べ710名の方が利用されています。

問 町民体育館トレーニング室の利用者は何名なのか。

答 町長 広域入所という制度があり、相手方の市区町村が広域入所制度を実施している場合は受け入れ可能です。

問 里帰り出産による保育所の短期入所はできるのか。



認定こども園「すまいる」完成予想図

問 平成29年4月の認定こども園「すまいる」の開園で待機児童は解消できるのか。

答 町長 現状で例えると、0歳児の入所可能児童が11名増となりますので、待機児童の解消につながる事が期待されます。



町民体育館トレーニング室

答 町長 他利用者との平等性、町が所有する他施設の利用者との平等性、トレーニング室の規模などから現在は考えていません。

問 国体、県体の選手の皆さんに大会前の一定期間、無料利用にすることはできないか。

答 町長 施設には整備、維持管理費用がかかっており、そのため利用される方へも相應の負担が必要との考えから、現在の利用料を採用しています。

問 利用料が一般200円、高校生100円となっているが、常時利用されている方には負担が大きいのではないかと。



文字拡大器の例

問 視覚障がい者への「文字拡大器」等の貸し出し及び助成はできないか。

答 町長 障がい者の日常生活の便宜を図るための用具の給付又は貸与を行う「日常生活用具給付事業」を実施していただきます。

問 本年、視覚障がい者福祉協会を立ち上げようとする方が準備等されているが、町として規約作成その他を含めて協力等はできないか。

消防の一斉メール配信と火災情報アプリの導入は

町長／今後の情報配信のあり方について広域組合の3町で協議



町長 山崎利章 議員



大徳分団車庫

問 防災関連について。
①避難拠点の公民館、小学校の改修耐震化、及び避難者の受け入れ体制は。

答 町長 公民館は防災拠点整備事業で12字を改修し、避難所として機能強化を図っています。受け入れ体制については、地域防災計画を基に避難所の運営マニュアルの作成も進めていきます。

問 ②消防団車庫の建て替えと消防車両更新の計画は。

答 町長 かなりの年数が経過した分団車庫については、改築や新築等の措置が必要と認め

ています。大徳分団が築48年、羊津、屋子母分団が築37年となっており、財源の確保などの建て替えの条件が整い次第、順次整備していきます。消防車両は住吉分団が昭和63年、上城分団が平成元年に配備しており、概ね導入後30年を目標に更新をする予定にしています。

問 ③消防団員への一斉メール配信の早期運用と火災位置、水利情報、出動状況が伝達できる火災情報アプリの導入について。

答 町長 一斉メール配信については、町の情報セキュリティに関わるネットワーク改修が必要で、現在システムの変更に向けて業者と調整中であり、アプリについては、今後の情報伝達体制を強化しながら、今後の情報配信のあり方について広域組合の3町で協議していきます。

問 ④道交法改正に伴う消防団員への中型免許取得に対する助成制度の創設は。

答 町長 消防団へ調査したところ、道交法改正により67名中10名の団員が、水槽付きポンプ車を運転できない状況に

ありました。助成制度については、財源や補助要件など制度設計を行う必要がありますので、十分な議論が必要と考えています。

問 採択された陳情、請願に対する速やかな対処及び報告が行える体制づくりは。

答 町長 議会と執行部の連携や陳情者への対応など、システム化されていない部分もあるので、スムーズな対処及び報告が行える体制づくりを検討したい。

問 徳時字から提出された「集落内町道の整備」を求める陳情の取り扱いとその後の対応は。

答 町長 簡易的に対応できる箇所については、伐採や側溝の泥あげ等を行いました。徳時字集団墓地につながる未舗装道路については、今後の財源確保等について検討します。町道、農道の道路整備に関しては、優先度や予算等を勘案し、補助事業での整備もしくは、一般財源対応として予算計上できるよう検討しています。

問 住吉貝塚の遺跡としての重要性は。

答 教育長 島内のみならず西諸島の歴史を研究する上でも重要な遺跡であり、島内唯一の国指定史跡でもあり、展示会・文化財講座などで普及・啓発活動を行っています。



住吉貝塚

問 歴史学習の拠点及び展示・体験型施設として貝塚公園の整備を要望するが、今後どのように計画されているか。

答 教育長 貝塚の上に原寸模型を作り、火おこしや寝泊まりなど、当時の様子が体験できるような、体験型施設として整備をする構想も検討しているところで。



新山直樹 議員

奄美ドクターヘリの運航について

町長／平成28年12月27日運航開始

問 奄美ドクターヘリの導入、運航について、町民への広報周知はどうなっているか。

答 町長 奄美ドクターヘリの運航開始の周知については、消防本部が発行する消防だより11月号と広報ちな12月号においてランデブーポイント（離着陸場所）等、町民への周知を行った。



奄美ドクターヘリ

問 奄美ドクターヘリのランデブーポイント（離着陸場所）は町内のどこの場所を指定しているか。

答 町長 Ⅱランデブーポイント（離着陸場所）は、フクロウラパーク、大山総合グラウンドに加え、田皆中学校、知名中学校、知名小学校、下平川小学校、沖永良部高校第一第二グラウンドの8箇所となっている。

問 出動要請した際に、重複した場合どのような対応をするのか。

答 町長 Ⅱ基本的には、要請した順番となっており、出動要請が重複した場合には待ち時間が出るのが予想されるが、患者の症状、医師の判断など状況によっては、自衛隊ヘリによる搬送、また、県が協議を行うこととしている沖縄県ドクターヘリによる搬送も考えられる。

問 搬送先を患者や家族の要望で県外の医療機関へ搬送することはできるのか。

答 町長 Ⅱ基本的には搬送する病院は県立大島病院となっておりますが、奄美群島内の医療機関で対応困難な患者（ハイリスクの周産期、心臓外科等の患者等）については、県本土や沖縄県内の医療機関へ搬送する方向で検討、協議を行うと報告を受けている。あくまでも患者を搬送する病院の

決定については、県立大島病院のドクターの判断であり、患者や家族の要望では無いことに留意する必要がある。

問 町民体育館の天井の断熱材が剥離して危険である。内壁の部分も剥がれたりしているのは、今後、改修工事の予定は。また、体育館西側の町有地を駐車場（舗装）として整備してはどうか。

答 教育長 Ⅱ天井の断熱材につきましては、高所作業機材が必要と思われますので、撤去方法について検討し、内壁の改修工事とあわせて実施したい。体育館西側は町有地であり、駐車場としての利用も可能です。今後の活用については検討課題の一つであり、それまでの間は、体育館の利用状況に応じて、安全面にも考慮しながら臨時的な駐車場として利用したいと考えている。

問 大山総合グラウンド西側のトイレ改修工事は出来ないか。

答 教育長 Ⅱ衛生面などを考慮すると、今後使用を続ける場合は、改修工事も必要だと思われるので、今後の検討課題とさせていただきます。

問 沖泊海浜公園に行く道路、海側の転落防止壁のコンクリートの損傷やパイプガードの損傷があり、大変危険である。早急な対応が必要だと思わうか。

答 町長 Ⅱ予算の手当てができた次第、できるだけ早い時期での修繕を検討していく。

問 屋子母海岸を整備する予定はあるのか。

答 町長 Ⅱ去年の台風災害で流された屋子母海岸のトイレ、シャワー室前の芝生については修繕を終えており、現在は修繕している防波堤修繕や東屋の塗装、転落防止柵等の設置、修繕等については、町所有や県所有が混在しているため、関係機関と協議しながら整備を検討したい。



屋子母海岸

知名町ポイ捨て防止条例の施行後の対応について



宗村 勝 議員

問 知名町空き缶等ポイ捨て条例が施行されてから、その効果があらわれていないように感じる。奄美群島の一部を自然遺産登録や国立公園を目指す中、住民の意識改革をすべきではないか。

答 町長は条例施行後これまでに啓発不足も否めない状況であり、町民の環境美化への意識改革と将来の国立公園にふさわしい環境を保持するために、防災行政無線や広報紙等を活用し啓発活動に取り組んでいます。

町長／環境美化への意識改革と啓発活動に取り組む



ポイ捨て禁止看板

問 町ホームページの更新について。

答 町長は町のホームページの更新については、各部署、各職員で取り組める仕組みを構築している。沖洲会等のホームページと相互にリンクが出来るように連携を行い、広く出身者や知名町ファンの方々にPRを図りたい。

問 高齢者の運転免許の自主返納を促す方を講じるべきではないか。

答 町長は概ね75歳以上のドライバーにドライブレコーダーを貸出し、その家族に運転の状況を見てもらって返納すべきか否か、判断してもらう取り組みも行っている。更に、広報誌による免許証返納啓発や沖永良部警察署や関係機関と連携を密にし、高齢者の移動手段の確保を充実するなど、安心安全なまちづくりに努めたい。



高齢運転者標識

問 農業政策について。
① 体験農業を含め人的交流等の交流人口の拡大に努め、町の活性化に繋げるべきではないか。

答 町長は国や県においては、豊かな自然や「食」などの地域資源を生かした農家民泊や農作業等を体験する教育旅行のほか、農産物直売所や体験農園等を活用した都市と農村との共生・交流を推進してき

ており、本町としても交流人口拡大による町の活性化を図ることは重要だと思えますが、これは、来られた方が楽しんで満足することが出来る農業、観光、郷土食、美しい景観などの「知名町の魅力」を広く収集し宿泊等の受け入れ体制をどうするのか、検討を進めたい。

問 ② バレिशヨ等の種イモの適正な価格設定について。

答 町長は知名農協の場合は、同じ農協系のホクレンと、民間業者の場合は、種苗会社を介して種芋を調達されているようです。知名農協の場合、毎年2年後の供給量と価格を協議した上での契約栽培となっており、価格の大幅な変動はないようですが、民間業者の場合、種場産地の状況等により価格の変動は多少あるようです。

問 ③ 基幹作物等のさとうきび、バレिशヨ、花卉、豆類等のほかに新品目の導入を図るべきではないか。

答 町長は本町の農業振興を図る上で、新品目の導入は大きな課題であると認識している。基盤整備や地下ダムの整備に伴い、生産基盤は大きく

整備されてきますので、今後も、知名町技連会を中心に、農協、県農業普及課などの関係機関と連携し、収益性の高い品目導入に向けた取り組みを強化したい。



スナップエンドウ

問 長期休職職員の実態について。

答 町長は現在、病気休暇、休職者が数名おり、専門の医療機関で、完治へ向け治療が続いているところですが、全職員へのストレスチェックなど不調の未然防止に取り組んでいるところであり、今後、職員衛生委員会等とおして、さらなる職場改善に努め職員検診・研修の充実や人事異動も含めた適切な措置を講じていきたい。



根釜昭一郎議員

知名町版学園都市計画について

教育長／恵まれた教育環境を活用し本町教育の充実を図っていききたい



認定こども園「きらきら」

問 田皆字は、一つの字に認定こども園から、田皆小学校、田皆中学校が隣接する全国でも類を見ない環境にあります。この環境を活かした知名町版学園都市構想についてどう思うか。

答 教育長 Ⅱ 幼児教育、小学校教育、中学校教育が行われる施設が一方所に集中している恵まれた教育環境であり、教育委員会としてもこの恵まれた教育環境を活用して、幼小、中連携教育の推進、教職員の校種間交流の推進等を図り、田皆中学校区はもとより、本町教育の充実を図っていききたい。

問 ②やぐにやホールの空調設備工事。

答 教育長 Ⅱ 田皆中学校新校舎は、平成15年8月に完成し、13年が経過、やぐにやホールの空調設備は3年ほど前から、屋上に設置してある室外機が塩害等により腐食し故障したと思われま。修理は不可能で再設置の費用の見積もりで1500万円余りかかるため、現在に達していません。今後は、別の設置方法等も検討し、学校行事等に支障をきたさないよう、早めに改修を行いたい。

問 インフラ整備について。①教員住宅の整備。

答 教育長 Ⅱ 町内各学校の教職員総数81人の内、教員住宅入居者が26人、自宅通勤者が5人であり、町内全体で50戸の教員住宅が不足しています。地域に根ざした教育の観点から校区内に居住することが好ましいため、教員住宅の建設が必要と思われます。しかしながら、耐震化を含めた児童生徒の教育環境整備を優先的に進める必要があり、財源的に当分の間は教員住宅の整備は厳しい状況にあります。

問 鳥留学の導入を計画してはどうか。

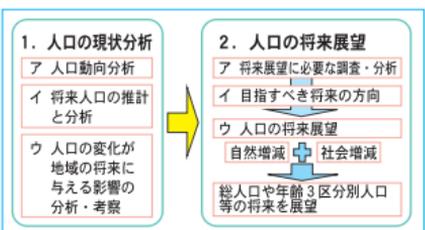
答 教育長 Ⅱ 離島の小規模校の競争がない、一般的に刺激と出会いがない、新しい人間関係をつくる機会がない。などの課題があるといわれており、そのような課題を解決し、島ならではの環境に刺激を与え、活性化を図るための一手段として、鳥留学制度の実施が考えられる。

問 人口減少問題について。

答 町長 Ⅱ 人口減少に伴う支障は他の地方公共団体でも同様に起こっており、今後は、人口規模に見合った運営や、参加者の確保、及び行事等の見直しが必要ではないかと思えます。各字の人口減対策として、地域おこし協力隊を活用し、字への支援を行っていく予定です。また、定住促進住宅の整備や空き家バンク事業による人口減少対策、コミュニティ助成事業を活用した、字への支援も行っています。しかしながら、地域づくりの

問 来年度予算における重点政策について。

答 町長 Ⅱ 現在、予算編成の最中であり、現段階では、継続事業が盛り込まれるであろう新規事業及び地域のニーズが強く必要、緊急度で合った町単事業に取り組みこととしています。



地方人口ビジョンの策定イメージ

主体は住民であり、補助金等に頼るのでは持続的な字運営にはならないと思います。まずは住民が地域の課題について主体的な取り組みを実施することを期待し、そのパッション（熱意）を支援していききたい。

障がい者支援について

町長／今後とも児童発達支援関係情報の広報・啓発を図る



西 文男 議員



児童発達支援事業所「ほてと」

問 児童発達支援施設と、地域及び関係機関への啓発の実施、成果は怎么样了っているのか。

答 町長 児童発達支援事業については、9月1日の一泊と一開設以来、町広報紙による紹介や施設管理者本人による保育所、幼稚園及び小学校訪問等によって関係機関への周知が図られたと認識しています。また、現在、未就学児の施設利用者は35名で、うち1名は1歳ハビリ終了となつていことから一定の成果があつたものだと考えています。なお、今後とも児童発達支援関係情報を「広報」

な」に掲載し発達障害に対する理解と啓発を図りたい。

問 町内の幼稚園、小学校、中学校で何らかの支援が必要な児童生徒数を把握しているか。

答 教育長 本町では特別支援教育の充実を図る目的で、6月、12月の2回、知名町特別支援連携協議会及び知名町教育支援委員会を開催し、特別支援が必要と思われる子ども達について、特別支援の在り方に関する協議を行います。また、教育支援委員会は、障害のある幼児及び児童、生徒の適正な就学先を総合的に判定するための協議を行つていきます。

問 本町における障がい者への就労支援等は怎么样了っているか。

答 町長 町内に施設がないため他の市町村の施設利用のみとなっている。また、あまみ障がい者就業、生活支援センターが定期的に巡回就労相談を実施しており、本町に就職を希望する障がい者の方に利用していただいている。

問 フルマラソンと隆起サングの沖永良部特有のケイビング、ダイビングを組み合わせた体験型観光の開催は考えているか。

問 本町として障がい者就労施設の設定は考えていますか。

答 町長 障がい者就労支援施設は、障がいのある人が障がいのない人と同等にその能力と適正に応じた雇用の場に就く、地域で自立した生活を送ることができるよう、一般就労への移行に向けた支援や生産活動の機会を提供する施設で、その人員に関する基準や設備及び備品に関する基準があり、本町では設立に至っていません。

答 町長 フルマラソンに関しては、近隣では与論町で開催されており、島外からの参加者も多く、アスリートや観光客を誘致するイベントとしてニーズがあると考えられます。ケイビングやダイビングのアクティビティ（活動・遊び）をフルマラソンとセットで開催した場合は、参加希望者の把握も必要である。更に開催するにあたり、県警察本部の意見や、沖永良部警察署長の許可も必要であり、開催経費を含め、様々な制約をクリアしなければならず、マラソン開催については、今後の検討課題としたい。

問 救助工作車の更新について。

答 町長 消防本部に配備されている救助工作車は、車輛事故による救出作業、海難事故、農作業時のトラクターの横転や掘取機等の巻き込み事故など重大事故からの救出や、夜間に発生する火災現場や交通事故現場の夜間照明など、あらゆる事故や災害からの救出に、無くてはならない車輛です。平成7年導入以来、22年が経過し部品の破損や経年劣化による車体の損耗などが見受けられ、車輛の更新については、消防本部では消防車輛更新の年次計画を策定しており、救助工作車の更新は平成30年の予定となっております。



救助工作車

平成28年第3回臨時会で審議された案件

議案番号	付 議 件 名	議決結果
議案第61号	工事請負変更契約の締結について (平成27年度知名C団地用地造成工事)	可 決
議案第62号	工事請負変更契約の締結について (知名認定こども園園舎新築工事1工区)	可 決

平成28年第4回定例会で審議された案件

議案番号	件 名	議決結果
議案第63号	知名町税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第64号	知名町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第65号	知名町職員の育児休業等に関する条例及び知名町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第66号	知名町職員の給与に関する条例及び知名町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第67号	知名町長等の給与等に関する条例及び知名町議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第68号	知名町農業委員会委員の定数に関する条例の制定について	原案可決
議案第69号	平成28年度 知名町一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第70号	平成28年度 知名町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第71号	平成28年度 知名町介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第72号	平成28年度 知名町奨学資金特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第73号	平成28年度 知名町下水道事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第74号	平成28年度 知名町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第75号	平成28年度 知名町合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第76号	平成28年度 知名町土地改良事業換地清算特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第77号	工事請負契約の締結について (平成28年度知名C団地A棟建設工事)	可 決
発委第1号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について	原案可決
発議第8号	議員派遣の件について	決 定
決定第7号	閉会中の継続調査の件について	決 定

議会を傍聴してみませんか。



議会の定例会は、年4回(通常3月、6月、9月、12月)開催され、必要に応じて臨時会が開催されます。

提出された議案は、本会議において提案理由の説明、質疑、討論、採決されます。また、議員が一般質問を行うのも本会議です。

本会議は公開されており、どなたでもその様子を見ることができますので、お気軽にお越しください。

9月

- 28日・第37回議会定例会閉会
- 29日・第41回知名町老人クラブ連合会ゆめ・ときめきスポーツ大会

10月

- 1日・第37回知名保育所運動会
- ・ 禧久伸一郎県議会議員との懇談会
- ・ 県政報告会(和泊町)
- 2日・町内小学校運動会
- 5日・議会ポランテア作業(総合グラウンド周辺伐採作業)
- 6日・議会広観研修会(鹿児島市)
- 7日・日本観光鍾乳洞協会総会・鍾乳洞サミット(高知県香美市)
- 9日・第51回知名町民体育大会
- 13日・奄美大島法人会知名支部報告会
- 16日・百合の島チャリティー公演
- 18日・沖永良部と論地区広域事務組合議会第2回臨時会
- 20日・県産材利用促進に関する要望活動
- ・ 知恵袋博士認定選考委員会
- ・ 議会勉強会(耕地課所管事務事業)
- ・ フローラルホテルオープン20周年記念式典・祝賀会
- 21日・田皆中学校体育館新築落成式・祝賀会
- 25日・第3回議会臨時議会
- 27日・常任委員長研修会(鹿児島市)
- 28日・第2回図書館協議会・読書活動推進協議会
- 30日・第2回南3町ゆめ・ときめき高齢者スポーツ大会

11月

- 2日・学校訪問・情報交換会
- 4日・知名小学校評議委員会
- 5日・町制施行70周年記念式典前夜祭
- 6日・町制施行70周年記念式典
- ・ 町制施行70周年記念祝賀会
- 8日・第35回離島振興市町村議会議長全国大会(東京都)
- 9日・第60回町村議会議長全国大会(東京都)
- 11日・知名町糖業振興会役員会
- 13日・えらぶりゆり球根植栽ポランテア
- 15日・離島議長行政調査(沖縄県石垣市)
- 16日・離島議長行政調査(沖縄県石垣市)
- 18日・平和の塔献花祭・護国神社秋季大祭・遺族会総会
- 23日・神戸沖州会創立90周年記念式典(神戸市)
- 24日・全国沖州会連絡協議会総会(神戸市)
- 25日・知名町消防団忘年会
- 27日・金子万寿夫衆議院議員との交流会
- 28日・奄美群島広域事務組合議会定例会(天城町)
- ・ 市町村議会議長会(天城町)
- 30日・議会勉強会(企画振興課所管事務事業)
- ・ 知名町商工会と議員と語る会

12月

- 1日・さとうきび搬入出発式
- ・ 知名町広域協定設立総会・祝賀会(農地・水)
- 3日・知名保育所おゆうぎ会
- ・ はまゆう会30周年総会
- 4日・第8回知名町食の文化祭
- ・ 知名町商工会合同忘年会

- 5日・酔庵塾と議員と語る会
- 8日・議会運営委員会
- 9日・沖永良部バス企業団議会第3回定例会
- ・ 年末年始交通安全運動キャンペーン
- 13日・第4回議会定例会閉会

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

幸多き新春をご家族お揃いでお迎えることと、心からお慶びを申し上げます。

昨年は、本町にとって町制施行70周年という節目の年でした。11月6日の記念式典、祝賀会では、全国沖州会の皆さん、町内外の皆さんにご出席をいただき盛大に開催する事ができました。厚くお礼を申し上げます。

本年は、知名認定こども園「すまいる」の開園、また、通信教育に多くの実績と高いノウハウを有する、星様大学と連携したサテライトカレッジの開校などが予定されており、新しい知名町の子育てや通信教育とスクーリングによる教育がスタートします。

人口減少対策、観光振興、若者定住や雇用対策など課題は山積していますが、これらの課題に対し、行政と議会が連携しながら「魅力ある知名町」、「活力ある知名町」を目指して取り組んでいきたいと思っております。

皆さまにとりまして、本年が幸多き年でありますよう祈念申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

議会広報副委員長 新山 直樹